平成23年12月1日

各　位

会社名　片倉工業株式会社
代表者名　代表取締役社長　竹内　彰雄
（コード:3001、東証第1部）
問合せ先　常務取締役企画部長　田中　淳
（TEL. 03－6832－0221）

中期経営計画「カタクラ2016」の策定について

カタクラグループは、このたび2012年度から2016年度の5カ年を計画期間とする中期経営計画「カタクラ2016」を策定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

１．中期経営計画「カタクラ2016」の策定

カタクラグループは製糸業を祖業とし、明治6年の創業以来、その永きに亘る企業経営の中で築き上げた有形無形の資産を強みに、事業の拡大・多角化を推進してまいりました。

昨今の先進国経済の停滞、すなわち製造業の成熟度とサービス業への依存拡大による成長力鈍化を、新興国市場へのシフトによって補完しようとする動きが加速しております。加えて、少子高齢化社会の到来やお客様ニーズの多様化、産業構造の変化などに対し、迅速かつ適切な対応が求められてきております。こうした環境認識のもと、カタクラグループはビジネスモデルの転換と企業体質の改善・強化に取り組み、企業価値の向上に尽力してまいります。

カタクラグループは今後の5年間において、東京・京橋、さいたま新都心、松本の不動産開発プロジェクトの具現化と、医療用医薬品の新薬の発売を予定しております。これらのビジネスプロジェクトに加え、「分散と融合」を念頭に「成長事業への転換」と「新規事業の創出」を基本戦略とした中期経営計画を策定いたしました。

２．経営理念

創業から 138 年の間に培われたカタクラグループの社風である「親和協力」のもと、ステークホルダーの皆様の満足を得ることに努め、社会と共に持続的な発展を目指すために、以下の経営理念を掲げております。

カタクラグループは、信義、誠実、親和協力を旨とし、命と健康を守り健全で豊かな社会の実現に貢献する。

３．経営ビジョン

カタクラグループは、「分散（多角化経営）と融合（シナジーの強化）」を追求し、それぞれの発想と、それぞれの技術、経験を持ち寄り、それぞれの市場の潮流を読むことで、下記のテーマに取り組んでまいります。

分散と融合を追求し、健康、安全・快適、環境との共生を実現する企業集団を目指し、新しい「成長の芽」を創り出す。

① 人々の健康な暮らしに貢献する事業を創り出す。

② 人々の安全で快適な暮らしに貢献する事業を創り出す。

③ 環境に貢献する事業を創り出す。

４．中期経営計画「カタクラ 2016」の概要

（１）数値計画

① 売上高、営業利益

（単位：百万円）

科目・事業名		2011 年度予想	2016 年度計画	増減
売上高		49,000	61,000	＋12,000
	繊維事業	11,500	12,000	＋500
	医薬品事業	18,200	22,000	＋3,800
	機械関連事業	8,500	9,200	＋700
	不動産事業	6,600	10,000	＋3,400
	その他	4,200	4,600	＋400
	新規事業	－	3,200	＋3,200

（単位：百万円）

科目・事業名		2011年度予想	2016年度計画	増減
営業利益		2,250	4,200	＋1,950
	繊維事業	50	500	＋450
	医薬品事業	1,850	2,400	＋550
	機械関連事業	0	250	＋250
	不動産事業	1,800	2,500	＋700
	その他	△100	150	＋250
	新規事業	－	150	＋150
	調整額	△1,350	△1,750	△400
営業利益率		4.6%	6.9%	＋2.3 p

② 設備投資額、減価償却費、研究開発費

（単位：百万円）

科目	2011年度予想	2012～2016年度計画（5年間）
設備投資額	4,300	29,500
減価償却費	2,540	15,500
研究開発費	3,420	17,500

（2）「カタクラ2016」の基本戦略

◎ 成長事業への転換

- 多様化する顧客ニーズに対応し、特定領域でのＮｏ．１を目指す
- 既存事業のビジネスモデルを見直し、成長事業へシフトすることで、収益基盤を強化する
- 新興国市場の開拓を推進する

◎ 新規事業の創出

- 多角化した事業のシナジーを効かせ、新規事業を創出する
- 人々の潜在ニーズに応え、独創的な製品やサービスを提供することで、成長事業を創出する
- 長期的な展望のもとでカタクラグループの新たな柱となる事業を創出する

（3）「カタクラ 2016」のセグメント別戦略

セグメント毎に 10 年後のあるべき姿を基本戦略に定め、その実現のための具体的な戦略として 5 カ年の事業戦略を展開してまいります。

① 繊維事業

＜基本戦略＞

- 健康と美を追求する高付加価値インナーメーカーへの転換
- 産業素材メーカーとしての地位を確立
- 海外での販売拡大

＜具体的な戦略＞

- 疲労軽減や快適性向上等の機能性製品を強化する
- 在庫回転率の向上と物流の効率化に取り組む
- 新たな高機能素材の開発と耐熱性繊維の用途開発に取り組む
- アジアを中心とした海外マーケットへ進出する

② 医薬品事業

＜基本戦略＞

- 循環器領域に特化したスペシャリティファーマの実現
- 「虚血＆不整脈」の２本柱

＜具体的な戦略＞

- 継続的に新薬を上市できる研究開発体制を確立する
- 循環器領域での独自の営業体制の確立により市場シェアを獲得する
- 他社ライセンスの導入により製品ラインナップを拡充する

③ 機械関連事業

＜基本戦略＞

- 消防自動車等の既存事業に加え、新たに環境整備機器の製造・販売事業を確立
- 海外での販売拡大

＜具体的な戦略＞

- 既存事業で培った技術を融合し、洗浄・清掃を切り口とした環境整備機器を開発する
- 消防自動車の艤装技術をベースに特長ある環境整備車両を開発し、ラインナップの拡充を図る
- 消防自動車の性能向上と消防資機材等の販売強化に取り組む
- アジアを中心とした海外マーケットへ進出する

④　不動産事業

＜基本戦略＞

・　社有地の価値向上につながる「まちづくり」事業の推進

＜具体的な戦略＞

・　大型社有地開発プロジェクトを中心とした不動産事業を展開する

・　商業施設の鮮度向上に努め、安定した収益力を維持する

⑤　その他

・　地域の生活に密着した商品・サービスを提供する

・　ミツバチの自家増殖技術を活かし、養蜂ビジネスの拡大を図る

・　商業施設・オフィスビル・マンション等のビル管理の業容拡大を図る

⑥　新規事業

＜介護・福祉分野＞

介護関連製品（介護用衣料、福祉機器等）を開発・製造し、介護・福祉事業に参入

・　繊維加工技術をベースとし、顧客ニーズに応えた介護用衣料・繊維製品を開発・製造する

・　機械加工技術をベースとし、介護者・要介護者双方の負担軽減につながる福祉機器を開発・製造する

＜コミュニティサービス分野＞

地域ニーズに対応したコミュニティサービス事業を創出

・　自然に触れ合う楽しさや食育の場を提供するコミュニティ事業を創出する

・　安全な高付加価値食材を提供する地産地消ビジネスを展開する

＜環境関連分野＞

環境整備機器・車両、アグリ関連機器の製造販売事業の確立

・　洗浄・清掃を切り口とした環境整備機器を開発する

・　環境整備車両を開発し、消防自動車に加えた特殊車両のラインナップの拡充を図る

・　植物工場等のアグリ関連ビジネスに参入する

＜健康分野＞

シルク・養蜂技術をベースにした健康食品・美容分野へ進出

・　ローヤルゼリーやプロポリス等の健康サプリメントの製品開発により健康食品事業へ本格参入する

・　シルクを原料とした製品開発により、美容分野へ進出する

中期経営計画の詳細につきましては、別紙（中期経営計画「カタクラ 2016」）をご覧ください。

以　上

中期経営計画「カタクラ2016」

片倉工業株式会社
(コード:3001　東証第1部)
2011年12月1日

【目次】

1．「カタクラ2016」の策定について　p.3

2．数値計画　p.8

3．基本戦略　p.12

4．セグメント別戦略　p.14

5．人材育成・株主還元　p.24

1.「カタクラ2016」の策定について

【当社グループの多角化起源】

垣外製糸場



生糸



創業　1873年（明治6年）
設立　1920年（大正9年）

生糸製造



生糸製造の
伝統を受け継ぐ

蚕糸関連研究



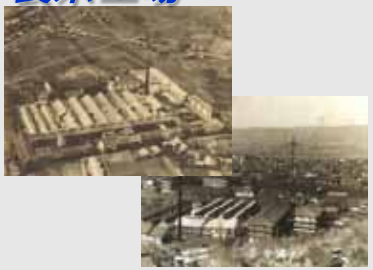
優良蚕品種
研究を活かす

繰糸機製造



繰糸機の自社開発
製造ノウハウを活かす

製糸工場



製糸工場跡地を
有効利用する

繊維事業

- 衣料品事業部
  肌着・靴下の製造販売
- オグランジャパン(株)
  ｶｼﾞｭｱﾙｲﾝﾅｰの企画・販売
- カフラス(株)
  補整下着の製造・販売
- (株)ニチビ
  機能性繊維の製造・販売

医薬品事業

- トーアエイヨー(株)
  医療用医薬品の製造・販売

その他

- 生物科学研究所
  訪花昆虫等の製造・販売

機械関連事業

- 機械電子事業部
  自動車部品等の製造・販売
- 日本機械工業(株)
  消防自動車の製造・販売
- 片倉機器工業(株)
  農業用機械の製造・販売

不動産事業

- 商業施設事業部
  商業施設運営、不動産賃貸
- 不動産開発部
  社有地の開発・活用

その他

- 小売事業部
  ホームセンターの運営
- (株)片倉ｷｬﾛﾝｻｰﾋﾞｽ
  ビル管理サービス

※社名の青文字は連結子会社

【当社グループの事業構成】

繊維事業

衣料品事業部





オグランジャパン(株)



カフラス(株)

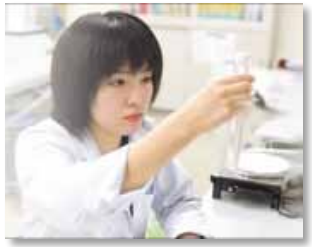



(株)ニチビ




医薬品事業

トーアエイヨー(株)

機械関連事業

機械電子事業部



日本機械工業(株)



片倉機器工業(株)



不動産事業

商業施設事業部



不動産開発部



その他

小売事業部



生物科学研究所




(株)片倉ｷｬﾛﾝｻｰﾋﾞｽ



※社名の青文字は連結子会社

【経営理念・経営ビジョン】

経営理念

カタクラグループは、信義、誠実、親和協力を旨とし、
命と健康を守り健全で豊かな社会の実現に貢献する。

経営ビジョン

分散と融合を追求し、健康、安全・快適、環境との共生を
実現する企業集団を目指し、新しい「成長の芽」を創り出す。



【「カタクラ2016」の策定について】

カタクラグループは今後の5年間において、下記のビジネスプロジェクトに加え、
分散と融合を念頭に**成長事業への転換**と**新規事業の創出**を基本戦略とした
中期経営計画「カタクラ2016」を策定いたしました。

ビジネスプロジェクト

2011　2012　2013　2014　2015　2016

(仮称)京橋3－1プロジェクト
2013年3月竣工予定



新薬発売(TY－0201)
2013年秋発売予定



さいたま新都心第二期開発
2014年度内開業予定



さいたま新都心駅前
冬季イルミネーション('11年11月)

松本社有地全体開発
2016年秋開業予定

隣接する社有地の相乗効果を生み出すことでエリアとしての集客力を高める不動産開発



コクーン新都心(第一期開発)
でのイベントの様子

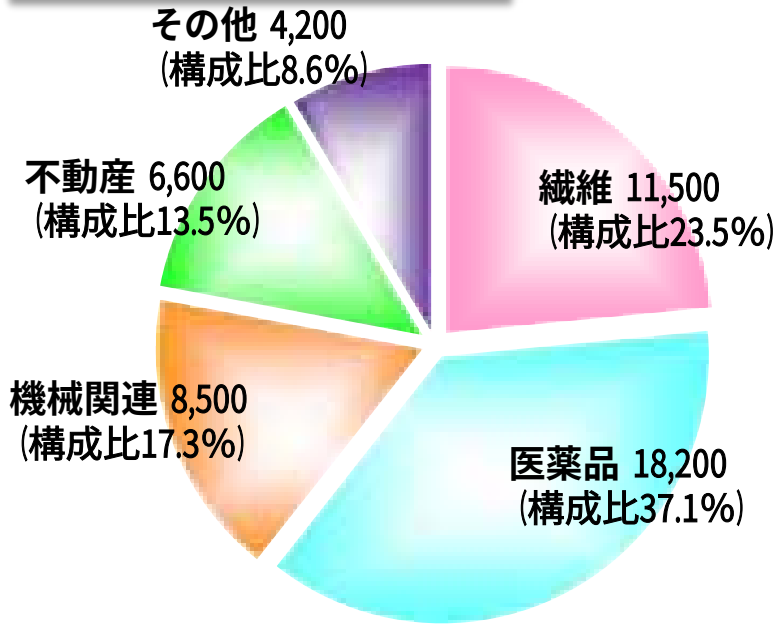
2．数値計画

【数値計画】 売上高

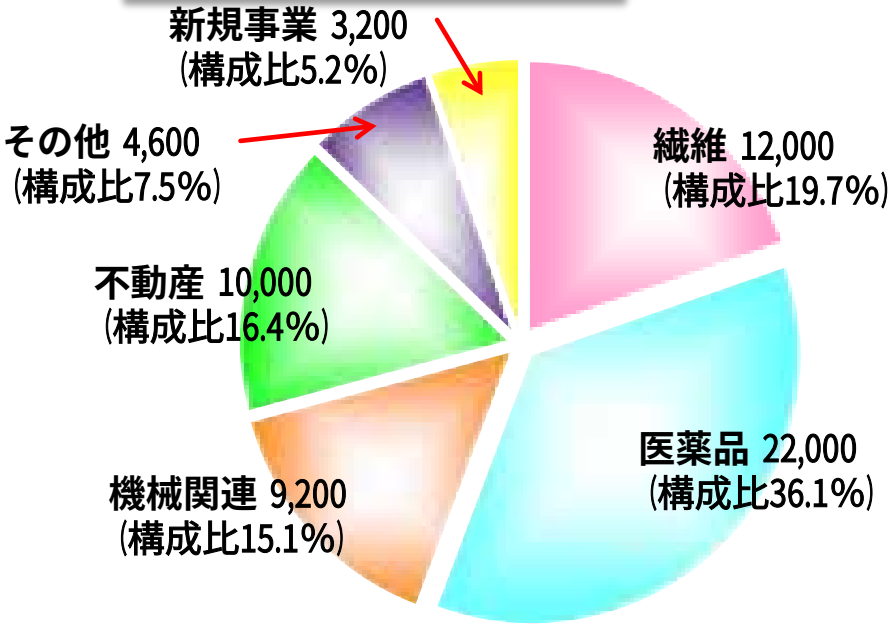
(金額単位:百万円)

	2011年度予想		2016年度計画		2011年度対増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	伸長率
売 上 高	49,000	100.0%	61,000	100.0%	12,000	124.5%
繊維事業	11,500	23.5%	12,000	19.7%	500	104.3%
医薬品事業	18,200	37.1%	22,000	36.1%	3,800	120.9%
機械関連事業	8,500	17.3%	9,200	15.1%	700	108.2%
不動産事業	6,600	13.5%	10,000	16.4%	3,400	151.5%
その他	4,200	8.6%	4,600	7.5%	400	109.5%
新規事業	—	—	3,200	5.2%	3,200	—

2011年度予想



2016年度計画

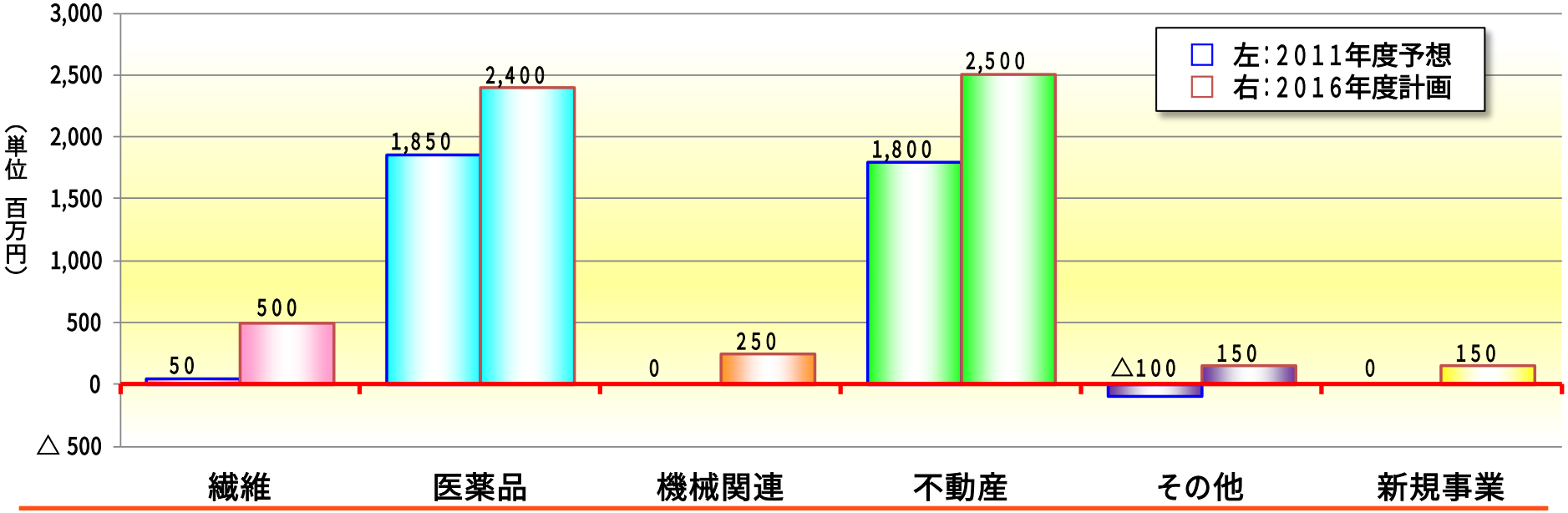


【数値計画】　営業利益

(金額単位:百万円)

	2011年度予想	2016年度計画	2011年度対増減
営業利益 (営業利益率)	2,250 *(4.6%)*	4,200 *(6.9%)*	1,950 *(2.3p)*
繊維事業	50	500	450
医薬品事業	1,850	2,400	550
機械関連事業	0	250	250
不動産事業	1,800	2,500	700
その他	△ 100	150	250
新規事業	―	150	150
調整額 (注)	△ 1,350	△ 1,750	△ 400

(注)　報告セグメントに帰属しない一般管理費



【数値計画】 設備投資額・減価償却費・研究開発費

(金額単位:百万円)

	2011年度予想		2012～2016年度計画(5年間)	
	金額	構成比	金額	構成比
設備投資額	4,300	100.0%	29,500	100.0%
うち医薬品事業	2,980	69.3%	6,000	20.3%
うち不動産事業	650	15.1%	※1 20,000	67.8%

《設備投資額》
※1
(仮称) 京橋3－1プロジェクト、さいたま新都心第二期開発、松本社有地全体開発等

	2011年度予想		2012～2016年度計画(5年間)	
	金額	構成比	金額	構成比
減価償却費	2,540	100.0%	15,500	100.0%
うち医薬品事業	1,270	50.0%	6,000	38.7%
うち不動産事業	860	33.9%	7,500	48.4%

	2011年度予想		2012～2016年度計画(5年間)	
	金額	構成比	金額	構成比
研究開発費	3,420	100.0%	17,500	100.0%
うち医薬品事業	3,130	91.5%	※2 14,500	82.9%
うち新規事業	―	―	※3 1,600	9.1%

《研究開発費》
※2
TY－0201及びTY－51924の臨床試験費用等
※3
新規事業創出に伴う調査・研究費用

3．基本戦略

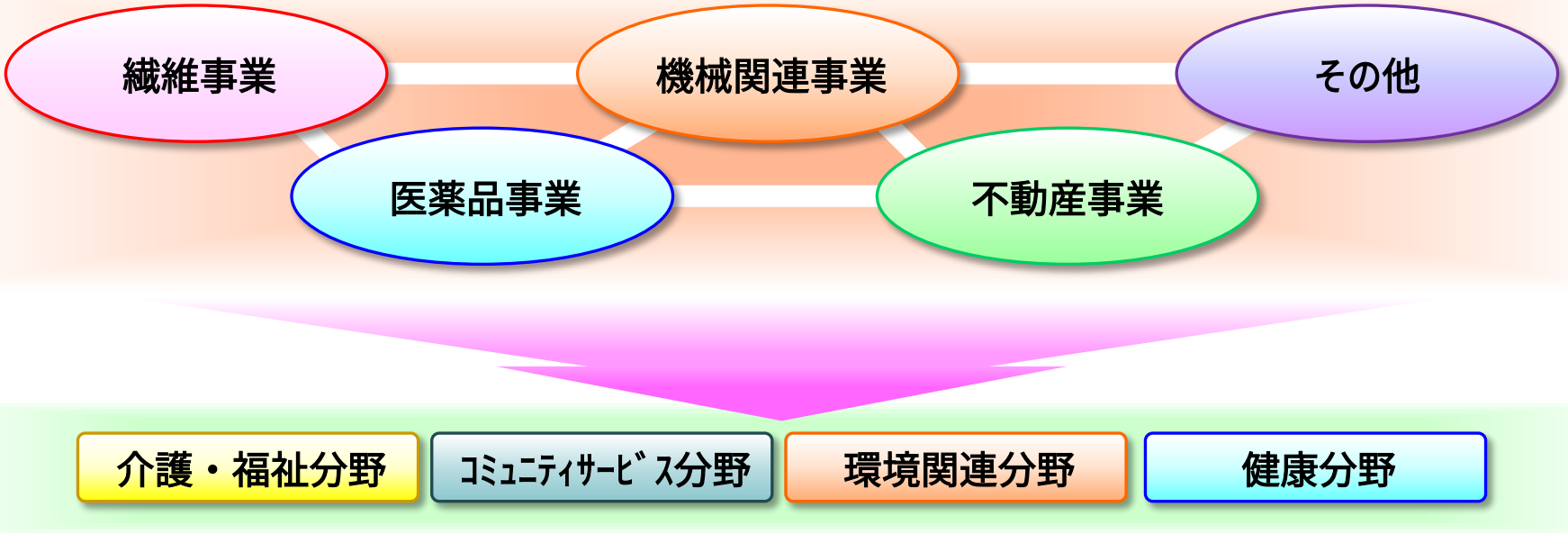
【基本戦略】

成長事業への転換

- 多様化する顧客ニーズに対応し、特定領域でのNo.1を目指す
- 既存事業のビジネスモデルを見直し、成長事業へシフトすることで、収益基盤を強化する
- 新興国市場の開拓を推進する

新規事業の創出

- 多角化した事業のシナジーを効かせ、新規事業を創出する
- 人々の潜在ニーズに応え、独創的な製品やサービスを提供することで、成長事業を創出する
- 長期的な展望のもとでカタクラグループの新たな柱となる事業を創出する



4. セグメント別戦略

【セグメント別戦略】 繊維事業

(金額単位:百万円)

	2011年度 予想	2016年度 計画	2011年度対 増減
売　上　高	11,500	12,000	500
営 業 利 益	50	500	450
営業利益率	0.4%	4.2%	3.8p

基本戦略

- ➢ 健康と美を追求する高付加価値インナーメーカーへの転換
- ➢ 産業素材メーカーとしての地位を確立
- ➢ 海外での販売拡大

具体的な戦略

1. 疲労軽減や快適性向上等の機能性製品を強化する
2. 在庫回転率の向上と物流の効率化に取り組む
3. 新たな高機能素材の開発と耐熱性繊維の用途開発に取り組む
4. アジアを中心とした海外マーケットへ進出する

事業概要

- ◆ 肌着・靴下等の衣料品の企画・製造・販売、20年以上にわたるベトナムでの工場生産、ブランドライセンス業 〔衣料品事業部〕
- ◆ 有名ブランドによるアンダーウェア、エプロン、ホームウェアの企画・製造・販売 〔オグランジャパン(株)〕
- ◆ 補整下着の製造・販売 〔カフラス(株)〕
- ◆ 水溶性繊維(水溶性長繊維トップメーカー)・耐熱性繊維等の機能性繊維の製造・販売 〔(株)ニチビ〕

衣料品事業部



オグランジャパン(株)



カフラス(株)





(株)ニチビ



【セグメント別戦略】　医薬品事業

(金額単位:百万円)

	2011年度予想	2016年度計画	2011年度対増減
売　上　高	18,200	22,000	3,800
営 業 利 益	1,850	2,400	550
営業利益率	10.2%	10.9%	0.7p

基本戦略

- 循環器領域に特化したスペシャリティファーマの実現
- 「虚血＆不整脈」の2本柱

具体的な戦略

1. 継続的に新薬を上市できる研究開発体制を確立する
2. 循環器領域での独自の営業体制の確立により市場シェアを獲得する
3. 他社ライセンスの導入により製品ラインナップを拡充する

事業概要

◆ 医療用医薬品の製造･販売（虚血性心疾患治療剤･硝酸薬のﾄｯﾌﾟﾒｰｶｰ）〔トーアエイヨー（株）〕

経皮吸収型・虚血性心疾患治療剤
フランドルテープ40mg

日本初の貼る心臓病テープ製剤



狭心症治療用ＩＳＭＮ製剤
アイトロール錠10mg,20mg

狭心症発作の予防や治療用の経口製剤



不整脈治療剤
プロノン錠100mg,150mg

頻脈性不整脈の治療剤





医療現場からの厚い信頼

【セグメント別戦略】 医薬品事業（パイプライン）

スケジュール

内　容	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年
新薬（TY-0201） 経皮吸収型の降圧剤 （高血圧）	フェーズIII終了	承認申請	承認審査	承認予定	新発売予定	
新薬（TY-51924） 心筋保護剤 （急性心筋梗塞）	フェーズII			フェーズIII（未定）		

研究・生産拠点



（福島研究所）
薬理・薬効、安全性

（製薬技術研究所）
・製剤技術センター
・合成技術センター
原薬合成から製剤化





（東京研究所）
新薬探索、薬効評価
臨床開発



（仙台工場）
主力製品を大量生産



（福島工場）
少量多品種の製品を生産
研究と結びついて製剤改良
等に柔軟に対応

【セグメント別戦略】　機械関連事業

(金額単位:百万円)

	2011年度予想	2016年度計画	2011年度対増減
売　上　高	8,500	9,200	700
営 業 利 益	0	250	250
営業利益率	―	2.7%	―

基本戦略

- ➢ 消防自動車等の既存事業に加え、新たに環境整備機器の製造･販売事業を確立
- ➢ 海外での販売拡大

具体的な戦略

1. 既存事業で培った技術を融合し、洗浄･清掃を切り口とした環境整備機器を開発する
2. 消防自動車の艤装技術をベースに特長ある環境整備車両を開発し、ラインナップの拡充を図る
3. 消防自動車の性能向上と消防資機材等の販売強化に取り組む
4. アジアを中心とした海外マーケットへ進出する

事業概要

- ◆ 消防自動車 (業界第2位) の製造･販売
  〔日本機械工業㈱〕
- ◆ 自動車部品、工業用バルブ、工業用洗浄機等の製造･販売、石油製品等の輸入販売
  〔機械電子事業部〕
- ◆ 畑作、稲作、果樹関連の農業用機械の製造･販売
  〔片倉機器工業㈱〕

日本機械工業(株)



機械電子事業部



片倉機器工業(株)



【セグメント別戦略】 不動産事業

(金額単位:百万円)

	2011年度 予想	2016年度 計画	2011年度対 増減
売 上 高	6,600	10,000	3,400
営 業 利 益	1,800	2,500	700
営業利益率	27.3%	25.0%	△ 2.3p

基本戦略

➢ 社有地の価値向上につながる「まちづくり」事業の推進

具体的な戦略

1. 大型社有地開発プロジェクトを中心とした不動産事業を展開する
2. 商業施設の鮮度向上に努め、安定した収益力を維持する

事業概要

◆ 商業施設の運営・不動産賃貸〔商業施設事業部〕
◆ 社有地の開発・活用〔不動産開発部〕

(コクーン新都心)



(大宮ゴルフセンター)



(片倉福岡シルバーマンション)



(加須カタクラパーク)



(松本カタクラモール)



【セグメント別戦略】 不動産事業（大型社有地開発プロジェクト）

スケジュール

内　容	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年
（仮称）京橋３－１プロジェクト	新築工事		3月竣工予定			
さいたま新都心第二期開発	開発プラン検討・新築工事			年度内開業予定		
松本社有地全体開発	隣接する4つの敷地を段階的に開発し、2016年秋に「松本カタクラモール」の建替えが完了する予定					秋開業予定

主な設備概要

《（仮称）京橋３－１プロジェクト》

用途	事務所・店舗・交流施設・医療施設・子育て支援施設・駐車場等
敷地面積	約8,130㎡（約2,500坪）　※うち、当社敷地 約908㎡（約270坪）
容積率	1,290％
延床面積	約117,000㎡（約35,400坪）
階数、高さ	地上24階、地下4階。約125m
共同事業者（6社）	当社、京橋開発特定目的会社、第一生命保険（株）、清水地所（株）、京橋三丁目特定目的会社、ジェイアンドエス保険サービス（株）

《さいたま新都心第二期開発（黄枠）》

現況	ｲﾄｰﾖｰｶﾄﾞｰ大宮店、ｶﾀｸﾗｺﾞﾙﾌｾﾝﾀｰ、ﾆｭｰﾗｲﾌｶﾀｸﾗ大宮店、共同駐車場
敷地面積	約68,000㎡（約20,000坪）

《松本社有地全体開発》

現況	イオン東松本店、生物科学研究所、スマイルホテル松本、社宅、駐車場
敷地面積	約83,600㎡（約25,300坪）　※4つの敷地の合計

（仮称）京橋３－１プロジェクト



さいたま新都心第二期開発（黄枠）



松本社有地全体開発



【セグメント別戦略】 その他

ホームセンター

地域の生活に密着した商品・サービスを提供する

＜事業概要＞

- 福島県、埼玉県2カ所、山梨県で店舗展開
- 立地特性を活かした個店別品揃え



生物科学研究所

ミツバチの自家増殖技術を活かし、養蜂ビジネスの拡大を図る

＜事業概要＞

- 訪花昆虫（交配用ミツバチ）の製造・販売
  花粉交配用専用商品として、日本で初めて開発
- ハチミツの製造・販売
  国内の採蜜場所を厳選し、採蜜期間や時間を特定した高品質製品
- 植物用殺菌剤「ハーモメイト」の製造
  殺菌成分の重曹は食品素材であり、人と環境に優しい安全な薬剤



(株)片倉キャロンサービス

商業施設・オフィスビル・マンション等のビル管理の業容拡大を図る

＜事業概要＞

- ビル清掃・植栽維持等のビル管理業。ショッピングセンターを中心に全国約50カ所を受託





（金額単位：百万円）

	2011年度予想	2016年度計画	2011年度対増減
売上高	4,200	4,600	400
営業利益	△ 100	150	250
営業利益率	―	3.3%	―

【セグメント別戦略】　新規事業

全員参加の「成長の芽」
提案活動の実施

部門横断的な
融合検討会議の開催

新規事業室の新設

**分散（多角化経営）と
融合（シナジーの強化）を追求し、
新たな分野に進出する**

介護・福祉
分野

環境関連
分野

コミュニティ
サービス分野

健康分野

【セグメント別戦略】 新規事業

(金額単位:百万円)

	2016年度計画
売 上 高	3,200
営 業 利 益	150
営業利益率	4.7%

介護・福祉分野

介護関連製品(介護用衣料、福祉機器等)を開発・製造し、介護・福祉事業に参入

- 繊維加工技術をベースとし、顧客ニーズに応えた介護用衣料・繊維製品を開発・製造する
- 機械加工技術をベースとし、介護者・要介護者双方の負担軽減につながる福祉機器を開発・製造する

コミュニティサービス分野

地域ニーズに対応したコミュニティサービス事業を創出

- 自然に触れ合う楽しさや食育の場を提供するコミュニティ事業を創出する
- 安全な高付加価値食材を提供する地産地消ビジネスを展開する

環境関連分野

環境整備機器・車両、アグリ関連機器の製造販売事業の確立

- 洗浄・清掃を切り口とした環境整備機器を開発する
- 環境整備車両を開発し、消防自動車に加えて特殊車両のラインナップの拡充を図る
- 植物工場等のアグリ関連ビジネスに参入する

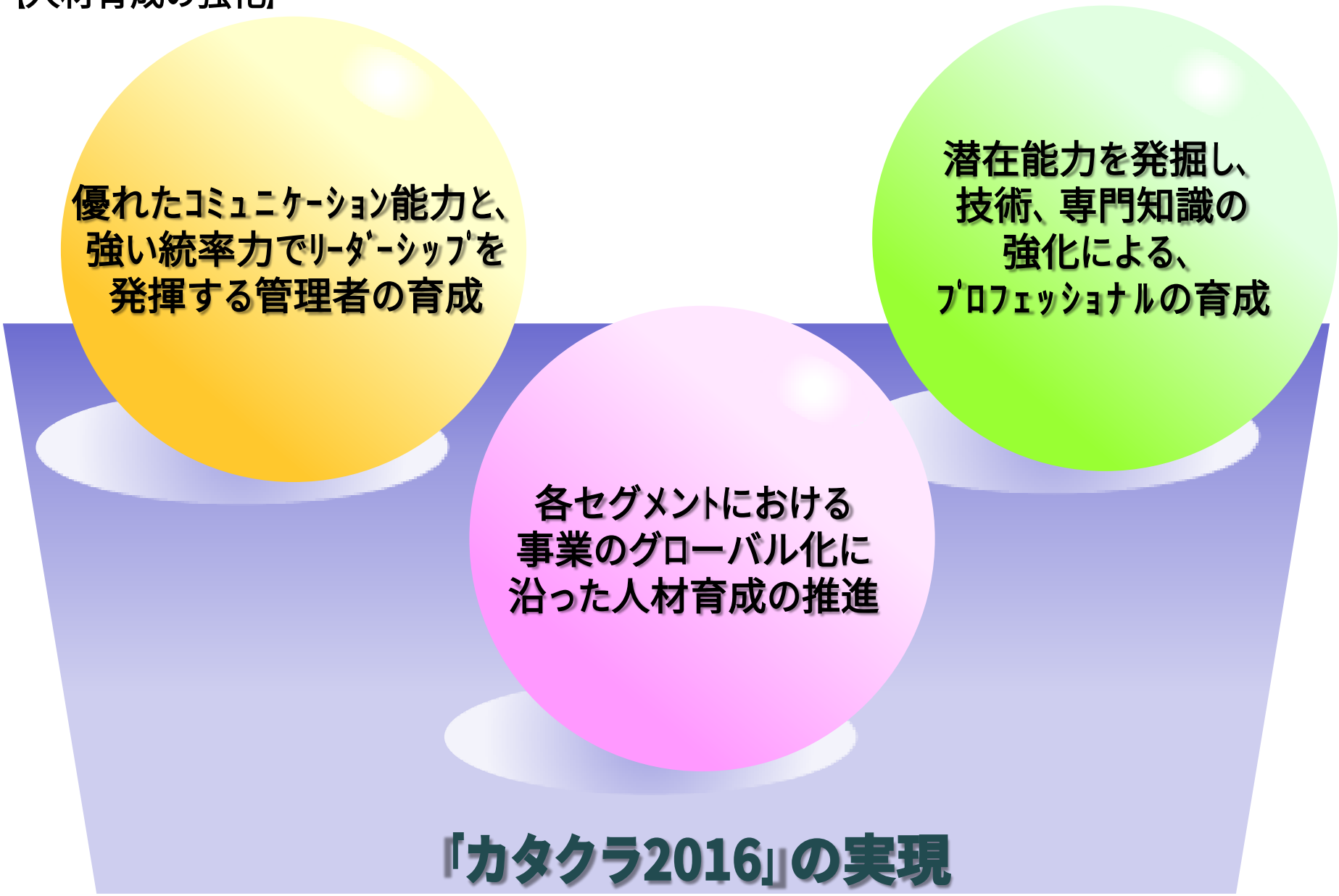
健康分野

シルク・養蜂技術をベースにした健康食品・美容分野へ進出

- ローヤルゼリーやプロポリス等の健康サプリメントの製品開発により健康食品事業へ本格参入する
- シルクを原料とした製品開発により、美容分野へ進出する

5. 人材育成・株主還元

【人材育成の強化】


優れたｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ能力と、
強い統率力でﾘｰﾀﾞｰｼｯﾌﾟを
発揮する管理者の育成
潜在能力を発掘し、
技術、専門知識の
強化による、
ﾌﾟﾛﾌｪｯｼｮﾅﾙの育成
各セグメントにおける
事業のグローバル化に
沿った人材育成の推進
「カタクラ2016」の実現

【株主還元】

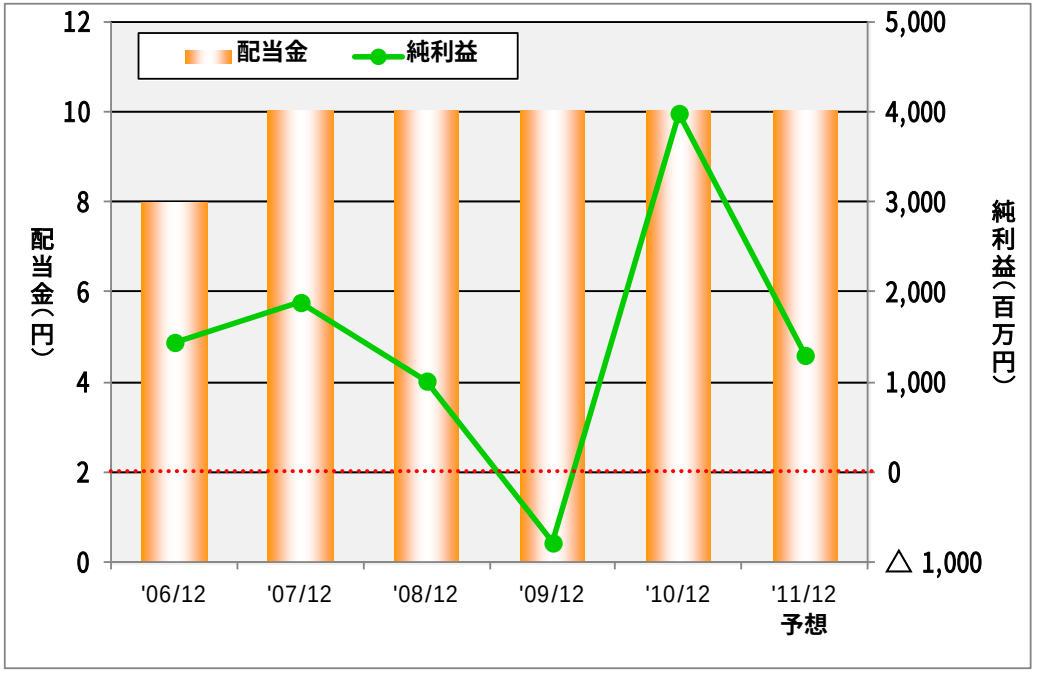
1株あたり配当金

'10年12月期実績	
普通配当	10円

'11年12月期予想	
普通配当	10円

利益の配分については、業績や今後の事業展開、内部留保の水準等を総合的に勘案のうえ、株主へ継続的に安定した配当を実施することを基本としております。

配当金と純利益の推移



	'06/12	'07/12	'08/12
配当金	8円	10円	10円
純利益（百万円）	1,444	1,887	1,015

	'09/12	'10/12	'11/12 予想
配当金	10円	10円	10円
純利益（百万円）	△ 781	3,985	1,350

【ご注意】

◆　本資料中の業績見通し等についての記述は、現時点における将来の経済環境予想等の仮定に基づいています。その実現・達成を保証または約束するものではありません。また今後、予告なしに変更されることがあります。

◆　本資料に含まれる情報の掲載にあたりましては細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りに関しまして、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。

【お問い合わせ先】
片倉工業株式会社
http://www.katakura.co.jp/
mailto:info_web01@katakura.co.jp
住所：〒104－8312
東京都中央区明石町6番4号

企画部企画課　　課長　明石敬二
Tel：03-6832-0221　/　Fax：03-6832-0282